

「さかなクン」の人気の裏にあるものは！

校長 濱 畑 昭 成

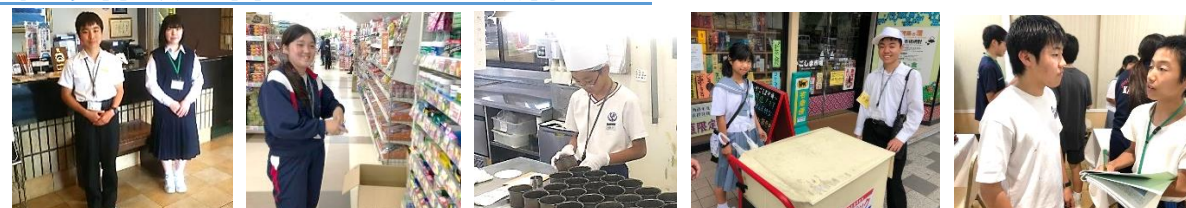
黒板を背にしたさかなクン、もはや留まることなく魚の話が始まった。児童生徒にとっては全くのサプライズであった。驚きとともにさかなクンの話題に引き込まれていく、「オボソは尾細と言って尻尾の所が細い」とか、「オジサンのヒゲは触角のような感覚器があって、それが無いと餌が取れなくなるんだよ」等々、絵を描いて楽しく説明してくれた。あっという間に黒板は魚いっぱい、教室中が海底のようになった。子ども達は興奮状態の中、まるで竜宮城に居るような錯覚を受けているかのようであった。

先日、予定外で訪問してくれたさかなクンを迎えての一幕である。子ども達への人気度も高い。その話し方に惹かれるからか、楽しい雰囲気伝わってくる。懇親会でもぎょぎょとギャグの連発、周りを和ませてくれていた。トレードマークのネクタイに白衣、ふぐの帽子(からだの一部だそうです)は欠かせない。見るからに笑いが込み上げてくる。実に楽しい魚博士であり芸能人である。

そのさかなクンの書いた道徳教材がある。それは、黒鯛のメジナの習性のある話である。いじめではないのであろうが、せまい水槽と一緒に入れたら、一匹を攻撃し始めるそうである。その一匹が居なくなると、別の一匹をいじめるそうである。それは繰り返されるそうだ。広い海ではこのようなことはないのに、小さな世界に閉じ込めるとそのようなことが起こるそうである。そのことを例えていじめがないようにしようと訴えてくれている。もし、身近にあったら自分が話し相手になってあげたり、一緒に魚釣りさそってあげたりして助けてあげたいといっていました。きっと人気の裏には、その人柄が誰にも伝わるからだろうと思うことである。



<職場体験学習～キャリア教育～>



三島村全体の中学生が一齐に職場体験学習を行いました。自分の将来は何になるかを考える大きな材料になります。また、村全体の中学生が「同級生」になれるひと時をすごしたようです。

<修学旅行～一生の思い出～>



村内の小学5・6年生が修学旅行に行きました。たくさんのことを学んだり、グリーンランドで遊んだり、一生の思い出を作ることができたことでしょう。これからの三島村の学校の中心となっていく仲間の輪が広がったようです。

<水泳教室～気持ちの良い季節～>

青年会の協力により、除草やポンプの整備などをしてもらい、プールを使うことができました！水泳を楽しみながら、水泳大会に向けて一生懸命泳力を伸ばしています！「水泳大会は7月5日です」



～救命救急講習～

6月18日に日赤診療の先生による救命救急講習が行われました。人形を使って、胸骨圧迫の大切さ、人工呼吸の難しさを、学びました。安心安全で過ごしたいものです。



< 職場体験学習 >



< さかなクン >



<修学旅行>



<一日遠足>



<燈籠づくり>

